

【音楽】パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜勉強すること＞

◆リコーダーのえんそうのしかたをおぼえて、音を出してみましょう
（教科書 20～23 ページ）

(1) 教科書 20 ページの「ささえ方」を見て、リコーダーを持ってみましょう。

※「ささえ方」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



(2) 教科書 21 ページ「音あなのとじ方」を見て、リコーダーの音あなを指で閉じたり、開けたりしてみましょう。

※「音あなの閉じ方」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



(3) 教科書 22 ページ「タンギング」を読んで、実際に息を出したり、止めたりしましょう。

※「タンギング」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



(4) 教科書 22 ページ「息づかい」を読んで、やさしく息を出したり、実際にリコーダーをふいたりしてみましょう。

※「息づかい」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



(5) 教科書 23 ページの「シ」の^お押さえ方をたしかめて、『^{れんしゅう}練習 1』から『練習 4』までをきいたり、えんそうしたりしましょう。



＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・御家庭でリコーダーを演奏する際は、大きな音が出ます。演奏する時間帯等について、お子さんと話し合っって約束等を決めておくなど、必要に応じて御確認をお願いします。
- ・楽器の扱い方については、教科書 21 ページの「楽器を大切にしよう」を参考にしてください。
- ・リコーダーの学習の最初の一步です。これから、リコーダーの演奏に興味をもてるように、うまくいったことをぜひ褒めてあげてください。